



又、今回も「中国四川省地震救援ニュース」から2つお知らせします。(事務局)

+++++

皆様いつもお世話になっております。新潟県中越沖地震からもうすぐ1年が経ちます。RSYでは、発災直後より、震度6強を受けた刈羽村へ継続的な復興支援を行ってまいりました。これまでの間、中国四川大地震、岩手・宮城内陸地震など相次ぐ大災害が続き、過去の被災地の記憶は風化の一途を辿っています。

刈羽村では、この地震で200戸の仮設住宅が建ちましたが、当初ほぼ満室だった居室も、今は約150世帯となりました。お盆前を目標に引越しの計画を立てられている方も多く、以降はさらに少なくなる傾向にあります。また、地震から1年に向けて、村では祈念イベント等も企画されています。このように、刈羽村では今も復興の再建に向けて、力強く歩まれている方々が沢山いらっしゃいます。

しかし一方で、生活再建の目処がたたず、復興の歩みに格差が出始めていることも事実です。「あせらず、自分のペースでやっていこう」と言い聞かせながら日々暮らしている方々もいらっしゃいます。私たちは、直接的な問題解決はできないかも知れませんが、「ずっと応援していますよ」という想いを届けることで、少しでもながく元気を下支えすることができればと、という思いで活動を続けてきました。

今回で4度目の訪問になりますが、今までの訪問で刈羽に行ったボランティアさんから「刈羽に行ったら元気になった」「またもう一度皆さんに会いにいきたい」という声が出てきました。その時、「被災者支援」から始まった取り組みが、いつしか支援者という一方的な関係ではなく、互いへの思いやりや元気を交換しあう相互の関係に変化していていることに気づきました。

そこで、4度目の今回の訪問は『あいち・かりわ元気交換プロジェクト』と題し、以下のツアーを開催します。

※全国共同募金会からの助成事業「中越沖地震復興支援事業～市民による復興活動助成～」の一環として実施しています。

今回は、刈羽村の暮らしや文化に触れ、皆さんとの交流を重視した内容になっております。

お時間のある方は、ぜひご参加下さい。

○あいち・かりわ元気交換プロジェクト

・日：8月1日(金) 夕方～8月3日(日)

※8月1日は午後6時ごろ集合し、現地に向かいます。

・場所：新潟県刈羽村

・内容

[8月1日(金)]

・18:00～23:00/刈羽村へ移動・現地泊

[8月2日(土)]

・9:00～12:00/地元ボランティアグループ【えびの会】赤田城址の周辺の清掃作業お手伝い・交流

・12:00～13:00/休憩・昼食

・13:00～15:00/刈羽村観光スポット「古民家」見学

・15:00～18:00/地元の方々と夕食準備

※愛知の名物と刈羽の名物を地元の方々と一緒に作りながら、互いの「イイモノ」を交換し合います。

・18:00～21:00/夕食・大交流会

※今までRSYのつながりのあった地元の方々と共に、食事会をしつつ交流します。

・21:00～/適宜入浴・就寝・自由行動

[8月3日(日)]

・9:30～12:00/仮設住宅訪問

※仮設の皆さんとお茶会・足湯マッサージなどを通じて交流します。

・12:00~13:00/休憩・昼食

・13:00~15:00/刈羽村観光スポット東福院（建立 500 年の歴史を持つ寺院）の見学とハイキング（予定）

・15:00~21:00/刈羽村出発→名古屋へ移動・解散

※日程の変更はありませんが、現地とのやりとりにより、内容の変更がある場合があります。ご了承下さい。

#### ○参加申し込み

・お名前・性別・ご住所・生年月日・電話番号（できれば携帯電話）・メールアドレスをご記入の上、7月18日（金）までに、事務局・浦野までご返信下さい。（ボランティア保険への申し込みをしますので、ご協力をお願いいたします）

・申し込み順に参加の受付を致します。車の座席数に限りがありますので、お早めにお申し込み下さい。（満席になり次第募集を終了いたします）

#### ○参加費

・お一人8,000円程度（2泊3日の交通費・宿泊代込み）

※食事代は各自負担となります。上記は予算ですので、場合によって変更がありますことをご了承下さい。

#### ○その他

日本災害救援ネットワーク（NVNAD）の皆さんと一部合同で活動します。防災や災害救援を中心に活動している方々です。夜の交流会や仮設での取り組みに参加予定です。

#### ○問い合わせ・申し込み先

特定非営利活動法人レスキューストックヤード

〒464-0032 名古屋市千種区猫洞通 5-21-2 ライフピア本山 3階

電話：052-783-7727

FAX：052-783-7724

メールアドレス：info@rsy-nagoya.com

担当：浦野

-----  
速いスピードで復興計画が制定、実施されていますが、住宅再建の方針が出たようです。以下はCODE 翻訳ボランティアさんによるものです。

《四川省：2009年末までに農民は新しい住宅に入居》

4日午後開催された「四川省住宅建設活動電話会議」で、四川省は被災地の農村で恒久住宅をつくる作業に着手し、1年半の時間をかけて、ぶん川地震による倒壊や重大な被害を受けた農村の住宅の再建を完成させ、農民に2009年末までに新しい住宅に入居することを保証するとした。

ぶん川地震により400万戸の家屋が倒壊または大きな被害をうけ、1000万人以上が帰る家を失った。災害発生後の各方面の努力で、現在被災者は仮設の住宅に入ることを実現した。都市と農村の住宅の修復再建は再建活動の主要な任務だ。

四川省は「四川省5.12ぶん川地震震災後農村住宅再建活動方案」を制定し、4日の会議で、各被災地区に全面的に農村の恒久住宅の建設に入るよう求めた。

四川省は倒壊したもしくは重大な被害を受け帰れなくなった農民の住宅再建に平均2万元(30万円)の補助を出すことを決定し、金額はその家庭の経済状況と人数に応じて分類し支給する。

被災地区では早急に農村住宅再建計画を編成し、どこに建てるのかどんな設備が必要なのかを確定する必要がある。四川省は専門家を組織して、被災地の農村の住宅設計に力を入れ、安全で経済的な住宅モデルを複数提供し、無料で農民に選択してもらうことにする。

(7月4日 新華網)

-----

前回は恒久住宅再建の方針をご紹介しましたが、今回は仮設住宅についてです。以下は CODE 翻訳ボランティアさんによるものです。

《 8月12日までに被災者の仮設住宅問題をすべて解決 》

四川省が先日举行的住宅建設に関するテレビ電話会議で、8月12日までに被災者の仮設の住宅問題を解決するとともに、一方で農村の恒久住宅建設に着手し、今年中に6つの重大被災市・州で60%、四川全省で70%が完成するよう述べた。

四川省の蔣巨峰省長によると、農村では現在93.69万戸の被災人口がテントやビニールシート簡易住居にすんでいる。多くの人が高温が原因で病気になっている。ほかに、20.76万戸の被災者が親戚や友人宅に身を寄せている。2千元の仮設住宅建設資金補助はまだいきわたらず、自分で仮設を建設する動きはまだ鈍い。都市部でのプレハブ住宅建設では、電気、水道、ガス、道路、ごみや汚水処理、避雷、防火安全施設などの建設が滞っている状態だ。

現在救援活動は復興再建段階に入っており、住宅建設は重点任務である。このため、四川では十分に共産党幹部が力を発揮し、被災者が自分で仮設住宅を建てる積極性と主动性を引き出すことが必要だ。村単位で広汎な互助活動を展開し、施工部隊を適時に編成し、機械を使って土地をならすなどの活動を行うこと。1か月以内に、防震、防風、防寒、防火、防雷機能をもち、電気と水道の通った少なくとも2、3年使用に耐えうるような仮設住宅を建設すること。

(7月7日 人民日報)

中国四川省地震救援募金にご協力下さい

郵便振替：00930-0-330579 加入者名：CODE

\*通信欄に「中国四川省地震支援」と明記してください。

募金全体の15%を事務局運営・管理費に充てさせていただきます

---

CODE 海外災害援助市民センター

〒652-0801 神戸市兵庫区中道通 2-1-10

tel +81(0)78-578-7744 fax +81(0)78-574-0702

e-mail:info@code-jp.org

---

## 2. 「歯科材料アレルギー治療の健康保険講座」(その7) 『菌田先生』

---

編集部より

今月より、菌田先生の記事は各月掲載となります。

又、歯科治療や歯などの質問をお寄せください。(必ずしもアレルギーと関係していなくても構いません) 皆さんの質問にもお答えいただくようにしていきます。

レジン材料の環境ホルモンが不安ですが？。

水銀やニッケルなどの金属(歯科材料)アレルギーがパッチテストで判明して、さあ詰め替えだという時に、レジン(合成樹脂の一種)の安全性を心配する人が見えます。

では、少しだけ安心してもらいましょう。

ゆっくりでよいから確実に理解して下さいね。

歯科金属アレルギーのそんな時、健康保険診療で治したい方は

①そのまま口の中で詰め物を詰め替える。(CR 充填)

または、

②歯型と噛み合わせを採って人体(歯型)模型を作り、はめ込みパーツを製作して、接着剤(セメント)で着ける。(CR インレー修復)

アレルギーがあり金属材料を使えなければ、どちらかを選択することが多いようです。

ただし、

このような治療法はもちろんレジン(CR)アレルギーのない方に限ります。

ここで

～チョコット

ニュース～

今年の4月から健康保険の規則が変わりました。このレジン(CR)の詰め物はそれまで歯医者泣かせの治療物で、ただでさえ収益性が悪く、「材料をケチるとすぐ割れるし、下手すりゃ赤字」(暴くなコラ!)の代表格でした。

その「CR インレー」が歯科医側にただの数百円の収入ではありますが、増えたのです。

歯科金属アレルギーの皆さん、これで歯医者さんに頼み易くなったでしょ!

でも、まだ、ご遠慮なくどうぞどうぞ、とは言い難く、それでもトホホの歯科医院なのです。(暴くなコラ!)

何とか、皆さんの署名運動で歯科材料アレルギー医療を健康保険で安心して受けられるようにして下さいね!期待しています。

～ブクブクが歯も体も救う?～

ブクブクというと虫歯や歯周病予防で老いも若きも皆さんおなじみですね。

さて、環境ホルモンですが、レジン(CR)材料からはある程度の溶出は有るようです。

しかし、皆さん、賢く治療を受けましょう。

それらの材料を治療でお口に入れられた時には

<ブクブク何度もお湯で口をゆすいで吐きだす>

というのが意外と効果的だと言われています。そのようにすれば、殆ど気にしなくても良いレベルにまでなるようです。

面倒ですと?

でも温かい味噌汁やお茶でブクブク&ゴクンは止めとこう。

体の外に排出可能な環境ホルモンを飲み込むことになりますよ。必要悪や副作用は最低限に留める努力が大切です。

～おじちゃんの智恵袋～

樹脂臭い台所用品は、お湯に何回も浸け置きしてから使うとキツイ臭いが軽くなり気にならなくなります。同じように考えるとわかりやすいかも知れません…。

## 結論は

ブクブクはするが安心。  
ブクブク太るべからず…。

ということで。

---

### 3. アレルギー大学講師の声 『国立病院機構三重病院 長尾みづほ先生』

---

”三重病院の長尾みづほです。アンケートによる、ご意見、ご感想ありがとうございました。なかなか全ての人のニーズに合わせることはできず申し訳なく思っています。これからも小児科医、アレルギー科医としての立場から保育園、幼稚園、学校、調理といった現場の意見と保護者の思いをお聞きしてアレルギーを持つ子ども達が笑顔でいられることを考えていきたいと思えます。”

---

### 4. 理事のつぶやき 『新任理事 二村理事』

---

みなさん、こんにちは。今年度から新しく理事となりましたあいち小児保健医療総合センターの二村です。まだ理事として自分にどんなことができるのかわかりませんが、少しでもみなさんの力になればと思っています。

アレルギー支援ネットワークには昨年アレルギー大学に講師として参加させていただいてからのお付き合いです。今年も参加させていただきましたが、(私の講義以外は)非常に勉強になるお話しだと思います。まだ参加されたことのない方は是非参加して下さい。アレルギーを「超」基礎から勉強したい方にも、もっと勉強して友達に教えられるくらいになりたい方にもお勧めです。

アレルギー大学の宣伝はこれくらいにして、最近気になった話をひとつ。新聞でもご存知の方もいらっしゃると思いますが、国立国語研究所というところが「病院の言葉をわかりやすくする提案」で難解な100語を取り上げてその実態調査を行っています。この中には、ついつい使ってしまう「炎症」「ステロイド」「喘息」「免疫」「抗体」などアレルギー関連の言葉も含まれていました。相手に説明するときにはその人の立場になって、言葉の選択をしなくてはいけないと改めて教えられました。みなさんにご覧いただいているホームページにもわかりにくい表現があるようでしたら、いつでも事務局にご連絡下さい。

---

### 5. ホームページのお知らせから

---

#### A) 食物アレルギーひやりはっと事例集

<http://www.alle-net.com/taisaku/indexn.html>

皆さんは、アレルゲンを誤食したことは、これまでにありませんか。そのときのお話を、募集します。是非お寄せください。事務局 園木(sonoki@alle-net.com)

#### B) 第3期アレルギー大学「調理実習献立一覧」

<http://www.alle-net.com/blog/event/2008%20alle-dai%20tyouri-kondate%202008.03.12.pdf>

#### C) 最新版アレルギー大学日程のお知らせ

#### D) 「ぜん息」症状のある方へ モニター調査にご協力ください

[http://www.alle-net.com/blog/event/2007/11/post\\_17.html](http://www.alle-net.com/blog/event/2007/11/post_17.html)

#### E) 「防災・救援ネットワークシステム」への登録のお願い

[http://www.alle-net.com/blog/event/2007/11/post\\_18.html](http://www.alle-net.com/blog/event/2007/11/post_18.html)

---

### 6. ボランティア・スタッフ募集

---

ボランティア・スタッフを募集します

《アレルギー支援ネットワークでは、ボランティア・スタッフを募集しています》

- ・パソコン(ワード、エクセル、アクセス、お絵かきなど)が得意な方
- ・イラストなどを描くのが得意な方
- ・何でもやってみたいなという方
- ・イベント、フェアなどを手伝ってくださる方

まずは、ご連絡ください。お待ちしております。

詳しいことは、事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局 (担当：中西)

FAX : 0564-55-5702 e-mail : info@alle-net.com

---

## 7. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します

---

《アレルギー支援ネットワークでは、一般会員を募集しています》

詳しくは、<http://www.alle-net.com/>

「支援ネットについて」の「会員の特典・入会書」をお読みください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局 (担当：中西)

FAX : 0564-55-5702 e-mail : nakanishi@alle-net.com

---

★皆さんのお近くで、アレルギーに関心、興味をお持ちの方、アレルギーでお悩みの方がいらっしゃるようでしたら、「アレルギー支援ネットワーク・メールマガジン無料登録」をご紹介ください。

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは、asn-mailmagazin@alle-net.com (担当：園木) までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★このメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、事務局担当(園木)sonoki@alle-net.com までお尋ねください。

---

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

---

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇ 444-0802 愛知県岡崎市美合町三ノ久保 13-3, 103

▽TEL/FAX : 0564-55-5702      ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----◆☆